

水泳部水球競技★関東大会出場決定！

6月8日（木）、関東大会に出場する陸上部と水泳部（水球競技）の壮行会を実施しました。陸上部の活躍はドリーム第240号をご覧ください。今号では、後期男子水泳部水球競技を取り上げます。下の文章は、6年次の田中元基キャプテンが書いてくれました。

今回、県民総体で1位を獲得するという光栄ある成績を残せたことには部員全員で喜んでおります。そしてその結果、関東大会に県代表として出ることができることをうれしく思います。ですが、僕らが求めていた戦い方で勝てたかと言われれば、そうだとは言いきれないのが現実です。まだ一つ一つのプレーが甘く、プレイスタイルが確立できていないのだと思います。プレイスタイルの改善を日々の練習で試行錯誤しながら、県で自分たちが一番強いのだというプライドを胸に、第39回関東地域春季水球競技大会（本年度は茨城県笠松運動公園プールにて開催）、インターハイ県予選、インターハイ関東予選は、さらに強い相手と張り合い、自分たちの戦い方に磨きがかかれば、と思います。

さて、僕らが行っている水球という競技の説明をしたいと思います。まず水球は、水中の格闘技、との異名を持つほど激しいスポーツです。各チーム7人（うちGK1人）、計14人が30×20mの中で暴れるので広いと言えば広いし、狭いと言えば狭いです。水深2mのプールで立ち泳ぎの巻足をしながら、フロントクロールでボールをはこびます。1試合は、1時間くらいかかります。その時間は、プールに浮いてプレーをします。相手ゴールを目指してボールを運ぶのが競技の趣旨です。その他諸々、細かめのルールが沢山あります。ちなみにわが水泳部にはハーフライン、即ち15m付近の所から攻めの時間切れで投げたボールが、たまたまゴールに入ったという人もいます。そのへんがまた、見ていて面白い部分ではあると思います。

茨城国体まで2年、自力でインターハイ・国体に出場できるように今後も練習に励んでいきたいです。応援よろしくお願いします。

